

愛媛県新居浜市若宮地区
地区防災計画



一人の犠牲者も出さない防災活動 若宮！

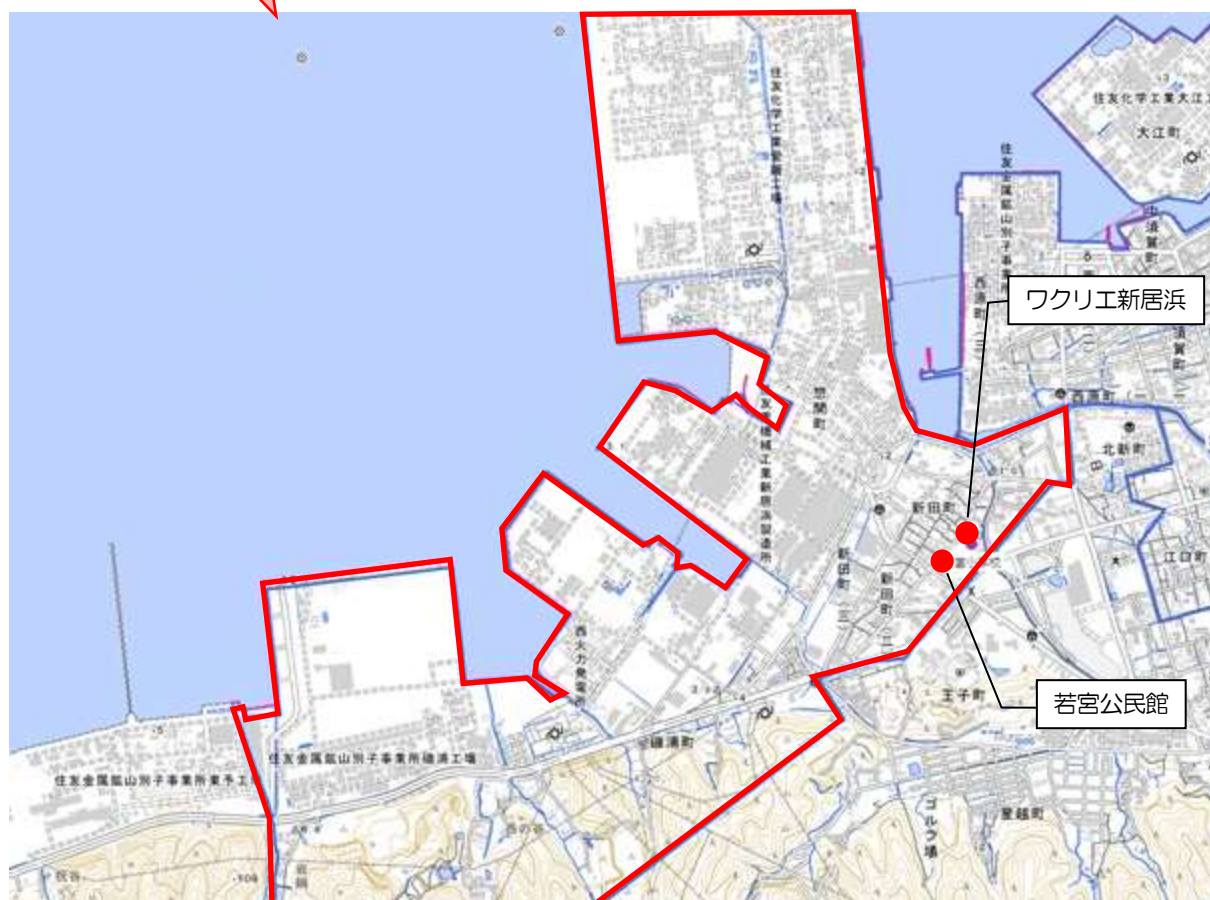
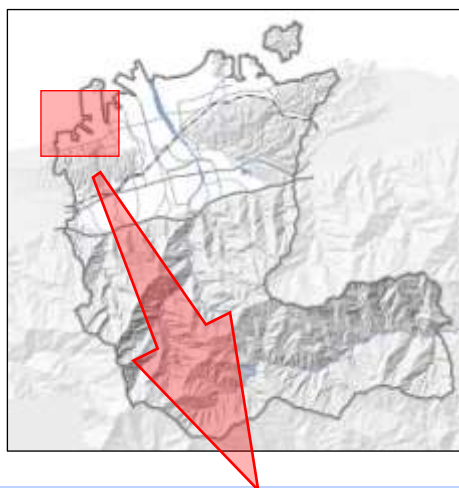
令和5年2月

1 地域の概要

若宮地区は、新居浜市の中心部から西側に位置し、西側は西条市船屋地区と北西側は臨海工業地帯と隣接し、中央部には住宅地が多く、木造住宅が密集しており、全地域的に道路幅も狭く複雑になっています。

また、東側では二級河川の王子川が存在し、南西側には、河北山（通称：金子山）が西条市境まで連なっています。

地区内には、ワクリエ新居浜（旧若宮小学校）、若宮公民館が立地されており、災害時には避難所として活用されることとなります。



2 社会特性

(1) 世帯・人口構成及び比率

(令和5年1月現在)

世帯	比率(%)	人口	比率(%)	男性	比率(%)	女性	比率(%)
906	1.6	1,522	1.3	719	1.3	803	1.3

(2) 避難行動要支援者数(市で確認済みの人数)

(令和5年1月現在)

対象者数	同意	不同意	その他
39	32	3	4

3 自然特性・災害特性(地域で起こりうる災害)

(1) 被害想定

想定震度	津波浸水深及び浸水開始時間	液状化危険度
7	0.5～3m 2時間後	極めて高い(30<PL)※
土砂災害	洪水浸水	ため池浸水
特別警戒区域	あり	なし
警戒区域	あり	

※ PL=液状化可能性指数。数値が大きいほど液状化の危険性が高くなる。

(2) 地理的特性

流域河川	二級河川	国領川、王子川、東川
	普通河川	土ヶ谷川、東谷川、西谷川
洪水浸水想定区域		新田町一丁目
土砂災害特別警戒区域及び土砂災害警戒区域		磯浦町
南海トラフ巨大地震による津波浸水想定区域		磯浦町、新田町一～三丁目、惣開町

(3) 想定される災害

災害種別	被災内容	備考
地震	想定震度7(建物倒壊、液状化)	
津波	最大想定浸水深0.5m～3m(地震発生から2時間後)	20cmに達する時間
洪水	最大想定浸水深0.5m～3m(想定最大規模)	
土砂災害	土石流、急傾斜地の崩壊	

4 防災の取組状況（予定）

取組時期	取組内容	対象
毎年7月下旬	地区防災訓練（初期消火訓練、土のう作成等） 防災キャンプ	地域住民 小学生

5 災害時の課題

区分	課題
地震	地盤が弱く、液状化を起こしやすい。
水害・土砂	海が近く、王子川があり、土地が低いため浸水しやすい。 磯浦地区に土砂災害警戒区域がある。

6 災害時の現状

区分	現状
地震	古い住宅が多く、家屋倒壊のおそれがある。 上水道管の破損のおそれがある。 LNGガス管の破損が考えられる。 地域全体の液状化危険度が極めて高く、道路の陥没などが考えられる。 海拔ゼロメートル以下地帯の浸水が考えられる。
水害・土砂	住宅地の土地が低い地域では浸水（内水）のおそれがある。 山間部の土砂災害で、取り残されるおそれがある。
避難所開設運営	避難困難者が多く出る可能性がある。 主な避難所が浸水区域内にある。 公民館は狭く、多くの避難者を収容できない。 代替の多人数を収容できる避難所がない。
自助共助の向上	防災資機材倉庫が浸水する場所にある。
要支援者の支援	高齢者・要支援者が多い。
その他	工場からの有害災害（ガス漏洩等）、火災が考えられる。 火災発生時は、家屋が密集しているため延焼が心配である。 商業地への殺到による交通渋滞が考えられる。

7 災害時の対策

区分	対策
地震	家具等を確認する。
水害・土砂	避難先を確認する。 暴風域に入る前に早めに判断して避難する。 警戒レベル3で避難を開始する。(危険を感じたら逃げる。)
避難所開設運営	自主防災のワーキンググループを充実する。 近隣地域との情報交換を行う。
自助共助の向上	防災意識の向上を図り、個人の対策を徹底する。 日頃から非常持出袋(非常食、飲み水、薬等)を準備する。 非常食をローリングストックする。 マイタイムライン(避難のタイミング・場所)を作成し、家族で共有する。 家族内での安全状態の確認方法を決めておく。 壊れそうな箇所を補修しておく。 テレビ、ラジオ、インターネット(キキクル)等から個々に情報を入手する。 近隣住民による安否確認体制を構築し、声掛けに迅速に対応する。
要支援者の支援	ワーキンググループにより要支援者と支援者の明確化を行う。 高齢者及び要支援者のマイタイムラインを早期に作成する。 要支援者対応のマニュアルを作成する。
その他	行動マニュアルを作成する。 大型施設(イオン)や住友別子病院への避難ができるように協定を結ぶ。

8 緊急避難場所及び避難所

施設名		収容人数		使用制限
		緊急避難場所として	避難所として	
ワクリエ新居浜	建屋 ※津波避難ビル	2,272 (1,408)	356	津波・高潮2階以上
	体育館	807	201	津波・高潮×
	グラウンド	11,020	—	津波・高潮×
若宮公民館		456	114	津波・高潮2階以上

※「緊急避難場所として」欄の()は津波避難ビルの場合

9 自主的な緊急避難場所

施設名	受け入れ対象地区	使用制限	備考
磯浦老人憩の家	磯浦第2自治会	津波・高潮×	

10 防災活動計画（5ヶ年計画）

（1）地区

実施内容 (実施対象)	年度計画					目標
	R5	R6	R7	R8	R9	
「マイタイムライン」の作成・支援 (住民・防災士)	検討	実施	⇒	⇒	⇒	命を守るため、住民一人ひとり取る行動を時系列に整理した「マイタイムライン(防災行動計画)」を作成する。
「まち歩き」による避難ルートの確認と決定 (小学校・中学校)	実施	⇒	⇒	⇒	⇒	地域内の危険箇所などを把握し、災害種別による避難ルートを作成する。
防災訓練の充実 (防災士)	実施	⇒	⇒	⇒	⇒	防災意識の向上と継続を図るため、防災訓練を充実させる。
各家庭の「備蓄」呼びかけ (住民)	実施	⇒	⇒	⇒	⇒	ローリングストックを含めた各家庭の備蓄を進める。

（2）自治会

実施内容 (実施対象)	年度計画					目標
	R5	R6	R7	R8	R9	
ワーキンググループ(WG)による要支援者と支援者の明確化 (WG・防災士・民生委員)	実施	⇒	⇒	⇒	⇒	「要支援者リスト」に掲載された方に対する支援者・支援方法を明確化する。
各家庭の防災意識向上 (自治会・WG)	実施	⇒	⇒	⇒	⇒	防災対策や防災意識高揚のための定期的な情報を提供する(「自治会だより」などで周知)。
近隣住民による「安否確認体制」の構築 (自治会)	検討	⇒	実施	⇒	⇒	現自治会の区・組分けを利用し、組構成員を2～3戸に分け、ピラミッド形式で構築する。

(3) 家庭

実施内容 (実施対象)	年度計画					目標
	R5	R6	R7	R8	R9	
「マイタイムライン」の作成 (避難タイミング・場所) (各家庭)	検討	実施	⇒	⇒	⇒	各家庭・個人が命を守るためのタイムラインを作成し、行動できるようにする。
防災食・飲料水の確保 ローリングストック (各家庭)	実施	⇒	⇒	⇒	⇒	各家庭で人数分の防災食や飲料水を確保し、ローリングストックを実践する。
耐震補強対策 (各家庭)	実施	⇒	⇒	⇒	⇒	家具の固定や倒壊防止対策を実施する。